

アジア人のニーズに合う HA フィラーとテクニック

——高濃度ヒアルロン酸注入剤 (クレヴィエルコントア・プライム)——

Kim Beom Joon

中央大学医学部 皮膚科 (韓国ソウル)

ヒアルロン酸 (HA) 注入剤の臨床適応は、ほうれい線からミッドフェイスのボリューム増大、唇、および眼周囲のしわの減少のために使用されることから始まりました。鼻、顎、首のしわ、頬のへこみ等、適応外部位にもよく使用されています。眼窩部は老化の徴候を示す最初の部位の1つであり、眼窩下の再活性化は美容治療で注目され続けてきました。眼窩下の皮膚の窪み (tear troughs) は審美的な観点から顔面で最もトラブルの多いエリアの1つであるとされています。顔の各解剖学的部位に対して設計された異なる流動特性を持つ様々な HA フィラーが開発され、市場に出回りました。Cleviel (韓国エストラ社製) は、アモーレパシフィック社の研究開発施設にて独自の製造技術 (4L 架橋技術) によって開発された純粋な HA フィラーです。この技術を使用することで Cleviel は他 HA フィラーよりも高い HA 含量 (コントア 50mg/ml プライム 33mg/ml)、より高い弾性、および術後の膨張しにくさを実現しています。より高い HA 含量は単位体積当たりの HA 分子密度を最大化した架橋技術の結果です。高い HA 分子密度は HA の分解を引き起こす酵素を HA ゲル粒子の内部に浸透させないようにすることで、Cleviel を構成する HA ゲルの変形率が低いにもかかわらず、より長期持続を可能とします。さらに、高い弾性と術後の膨張しにくさは輪郭を形成しやすいという利点があります。

4L 架橋技術の第1の特徴は、高密度化された HA を用いることにより物理的な絡みを最大化しています。この技術は使用する化学架橋剤量を最小限に抑えることができ、その安定性を高めることができます。第2の特徴は、低温で HA を架橋することにより架橋プロセスで発生した熱による HA の変形を最小に抑えています。この高密度 HA ゲルは従来の HA 注入剤と比較して、最も低い温度と最も低い BDDE 量で架橋されています。第3の特徴は、他社製品より高密度で高含量の HA ゲルなため、HA 分解酵素や酸化的ラジカルによる体内での分解に対する耐性を高め、HA ゲルの持続力を長期化しています。最後に、術後の HA ゲルの膨脹を制御することにより術後の結果を予測しやすくしています。

本日私は、従来の HA フィラーと比較した Cleviel の臨床前および臨床試験の結果について説明します。